

ひろしま未来チャレンジビジョンに 基づく23年度実施施策の状況

「新たな経済成長」分野の施策及び成果指標・目標

【関係局等】

（ 経営戦略審議官， 地域政策局， 環境県民局，
商工労働局， 農林水産局， 土木局 ）

H23. 8. 10 戦略推進課

【領域】

新たな産業
・基幹産業

【目指す姿】

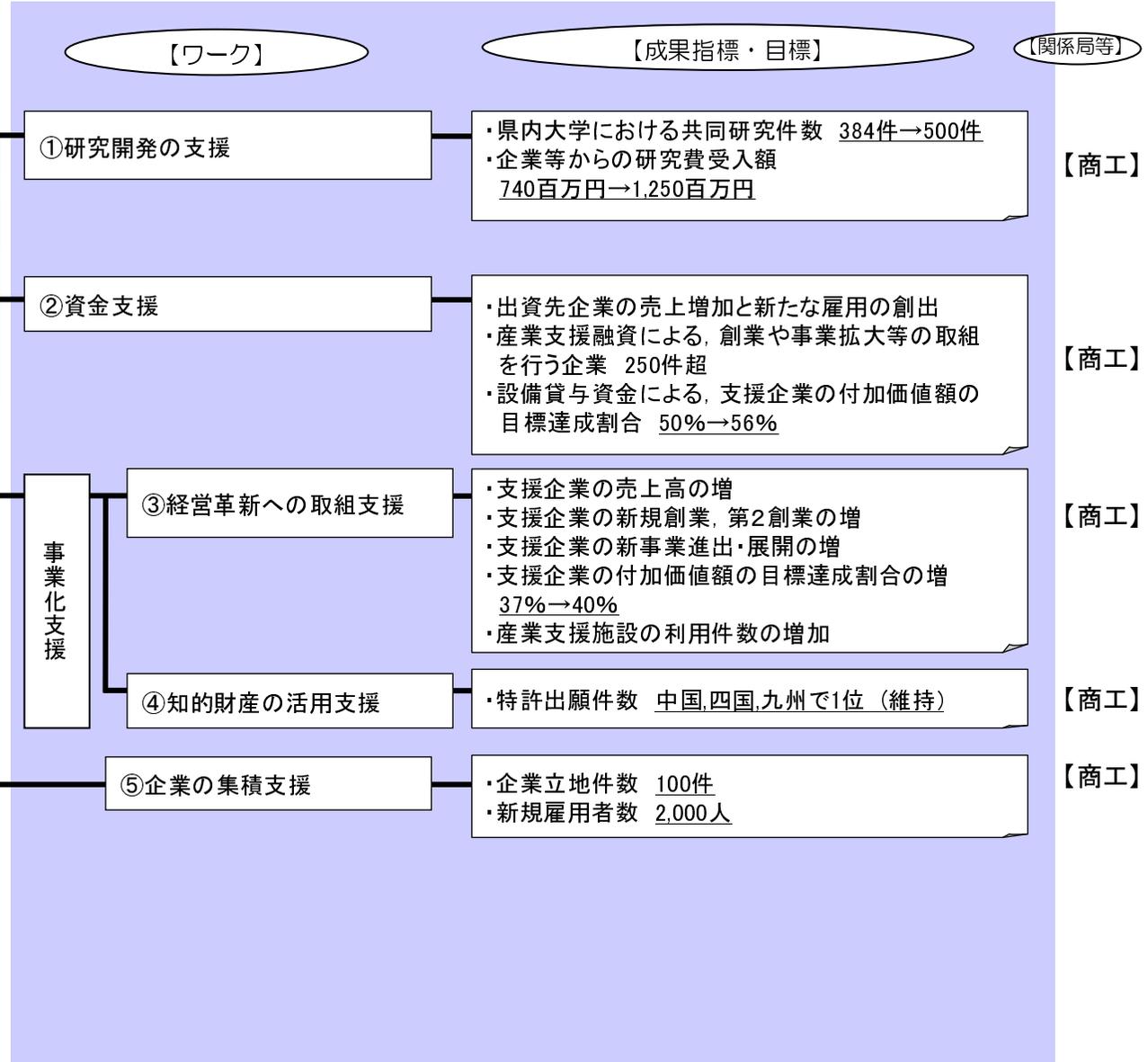
〇ものづくり産業における世界トップレベルの技術の集積を生かしつつ、新しい産業が生まれ育ち、社会経済情勢や市場の動向に、柔軟かつ的確に対応できる「イノベーション立県」が実現しています。

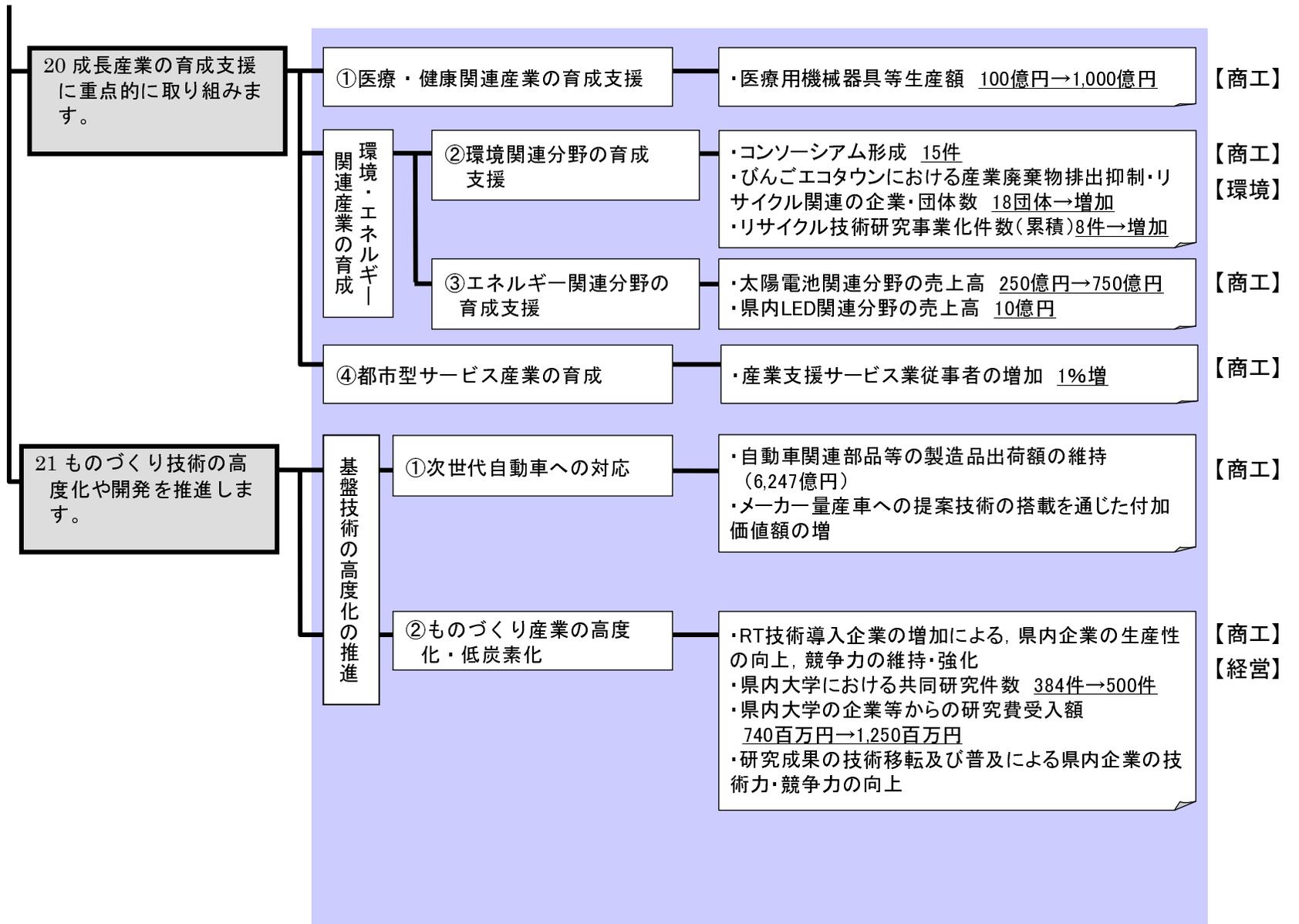
【目標】

- 〇イノベーションを通じた新たな産業の育成
- 〇基幹産業の競争力を強化

【取組の方向】

19本県が誇る“ものづくり産業”の集積を最大限に活用しながら、企業の付加価値・競争力を上げるイノベーション力の徹底強化に取り組みます。





【領域】

新たな産業
・ 基幹産業

【目指す姿】

○新たな挑戦や意欲ある取組が活発に行われ、アジアを中心とする成長市場を獲得しています。

取組番号22

【目標】

【取組の方向】

○イノベーションを通じた新たな産業の育成
○基幹産業の競争力を強化

22 アジアを中心とする海外成長市場を対象としたビジネス機会の拡大を支援します。

【ワーク】

【成果指標・目標】

【関係局等】

①中国との経済交流の拡大

・中国への輸出額 3,480億円→増加
・県内企業の中国(四川省・重慶市)への事業展開件数 7件→14件
・現地企業と県内企業の業務提携数及び県内進出企業数 0件→3件以上

【商工】

②インドとの経済交流の拡大

・インドへの輸出額 228億円→増加
・県内企業のインドへの事業展開件数 8件→24件以上
・現地企業と県内企業との業務提携数 2件→6件以上
・現地企業の県内拠点設立件数 1件→3件以上

【商工】

③県内企業の海外展開支援、外国企業の県内投資促進

・輸出額の増加
・県内企業の外国への事業展開件数の増加
・外国企業と県内企業との業務提携数 14件→18件以上
・外国企業の県内拠点設立件数 12件→16件以上

【商工】

④外航コンテナ航路の拡充

・広島港の航路拡充
中国 週6便→週8便
東南アジア 週3便→週4便
・福山港の航路拡充
中国 週6便→週8便
東南アジア 0→週1便

【土木】



インド タミル・ナドゥ州と経済交流に関する覚書を締結(H22年11月)



中国 四川省との友好提携締結25周年記念式典(H21年6月)

【領域】

農林水産業

【目指す姿】

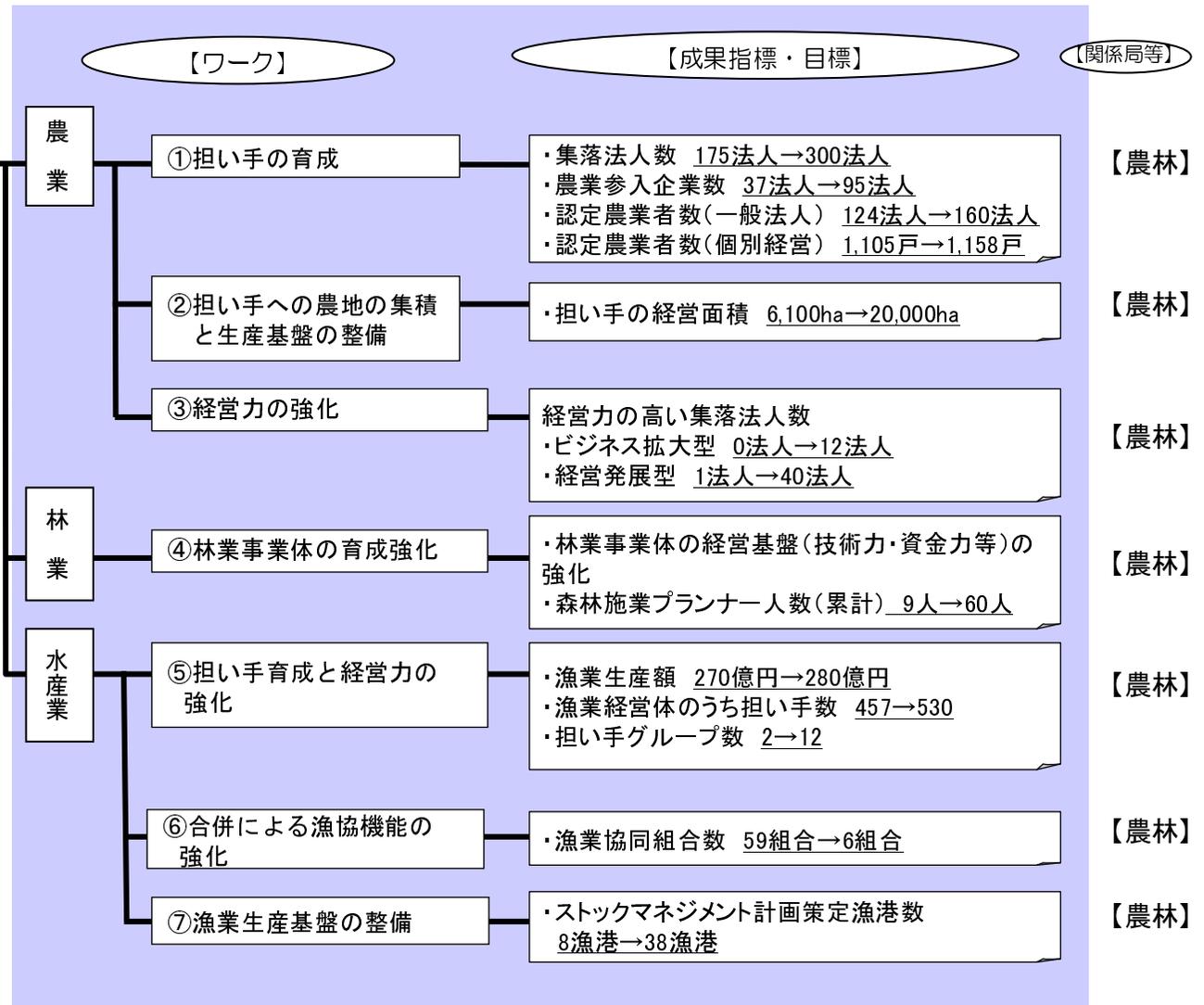
○農林水産業が自立した産業として確立し、生産から販売まで一体的な取組が活発に行われ、若者を含む新たな雇用を創出するなど、地域産業の核となっています。

【目標】

【取組の方向】

○経営力の高い担い手を育成し、農林水産業者の所得向上及び地域の雇用機会を拡大

23 地域の核となる経営力の高い担い手の育成に取り組みます。



○戦略的な販売・流通等の仕組みの構築

○適正な森林資源管理と効率的な木材生産・流通体制の構築

24 生産・流通・加工・販売体制の確立に取り組みます。

農業

「作ったものを売る」から「売れるものを作る」生産体制の確立

①園芸作物

・野菜産出額 177億円→230億円
・果樹産出額 128億円→140億円
・花き産出額 31億円→32億円

【農林】
【経営】

②畜産

・畜産の産出額 405億円→437億円
・広島牛出荷頭数 3,594頭→4,380頭

【農林】
【経営】

③生産から販売までが一体となった取組による販売力の強化

・バリューチェーンの構築による主要品目の産出額の増加 82億円→115億円

【農林】

林業

④効率的な木材生産体制の構築

・県産材(スギ・ヒノキ)素材生産量 6.9万m³/年→30万m³/年
(うち低コスト林業団地分 3.2万m³/年→15万m³/年)
・低コスト林業団地面積 48,630ha→55,000ha
・低コスト林業団地の林内路網密度 24.8m/ha→車両系100m/ha, 架線系40m/ha

【農林】

⑤県内経済に貢献できる流通加工体制の実現

・県産材の製材品出荷量 3.8万m³/年→16万m³/年

【農林】

⑥県産材を最大限活用する木材利用の実現

・公共建築物等への木材利用拡大 3千m³/年→1万m³/年
・県内での県産材製材品販売量のシェア 8%→27%

【農林】
【経営】

⑦適正な森林資源管理

・再植林経費 95万円/ha→1/2以下

【農林】

水産業

水産資源の持続的な利用体制の構築

⑧資源増大対策の推進

・海面漁業生産量のうち栽培放流対象魚種の生産量 1,525トン→1,575トン

【農林】

⑨漁場環境の保全整備

・藻場・干潟の造成改良面積 7.4ha→8.5ha

【農林】

⑩漁業秩序の維持

・漁業違反通報件数の低減(H20-22平均36件)

【農林】

⑪販売戦略を踏まえた生産・流通・販売体制の実現

・ブランド化・加工販売など戦略的販売の取組件数 1件→3件
・かき養殖生産額 150億円→157億円

【農林】
【経営】

【領域】

観光

【目指す姿】

○「ひろしまブランド」や「瀬戸内ブランド」が確立され、国内外から訪れる多くの人々に感動と癒しを与えるとともに、県民にとっても世界に誇れる観光地となっています。

○本県産業の柱である「ものづくり」に加え、観光が成長を支える産業の一つとなっています。

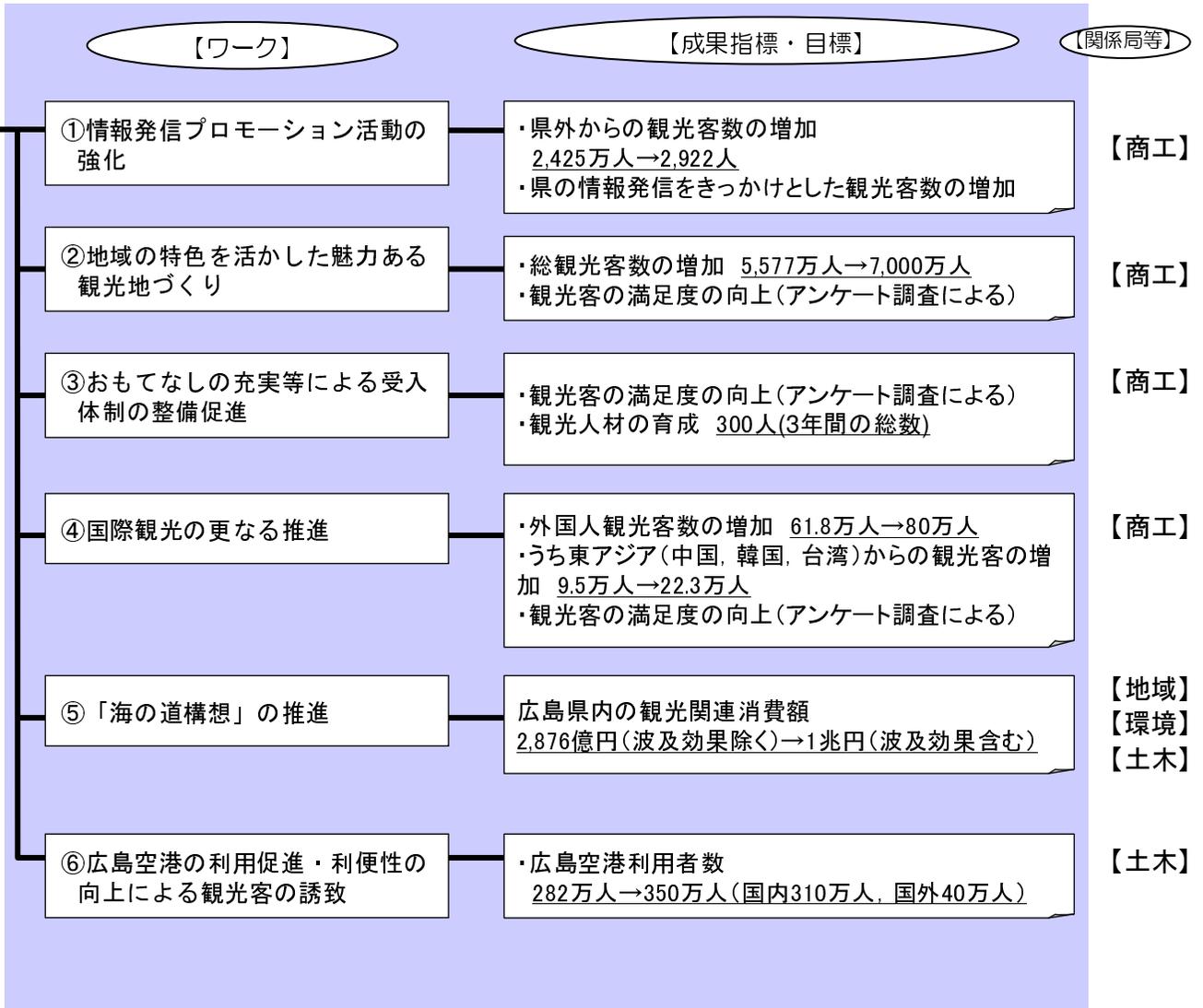
取組番号25

【目標】

【取組の方向】

○リピーターや外国人観光客等の増加による国内外からの観光交流人口の増加

25 魅力ある観光地づくりや観光情報発信の強化などにより、国内外からの観光客誘致に取り組めます。





【領域】

産業人材・就労

【目指す姿】

○経営能力や高度の技術・技能を備えた多彩な産業人材の育成・集積が進み、イノベーションを生み出す源泉となっています。

○働く意欲のある人が県内で活躍するために、産業構造の変化に柔軟な対応ができる労働市場が形成されています。

取組番号26～28

【目標】

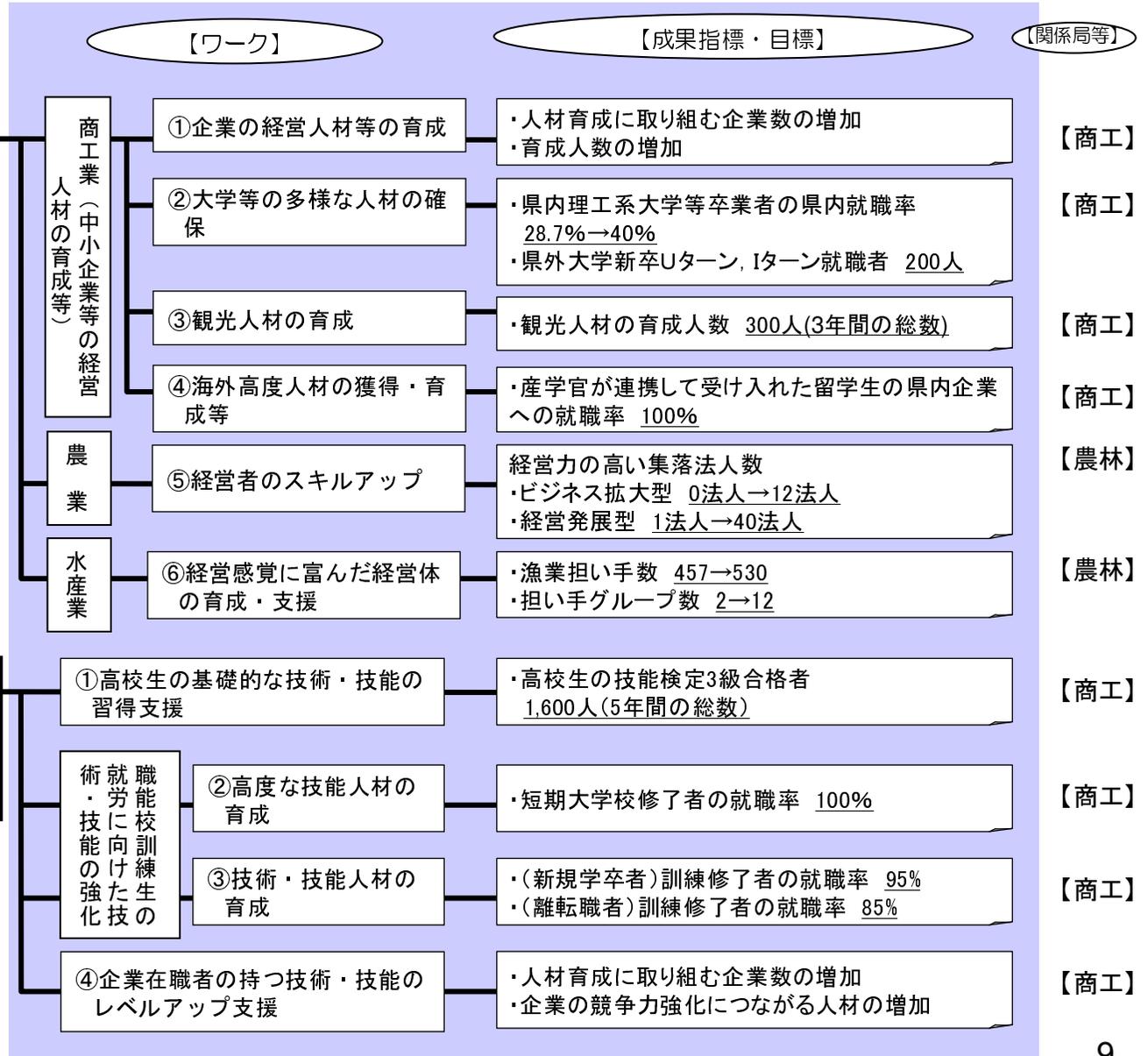
【取組の方向】

○イノベーションを担う経営人材・技術人材、新しい時代をにらんだ知識社会に対応する人材や、基盤技術を支える技能人材など、本県産業を担う人材の育成・活用

○成長産業への労働力の移動を促すための環境づくり

26 高度な技術・技能人材や経営人材など、多様な人材の育成・活用の仕組みづくりを推進します。

27 基盤技術を継承する技術・技能人材の育成などを推進します。



28 働くことを希望する人の就労を支援します。

体制の強化	①相談窓口等による就業支援	・15歳以上人口に占める就業者割合の向上 56.9%→増加	【商工】
	②職業訓練による就業支援	・訓練受講者の就職率の向上 施設内訓練 85%, 施設外訓練 70%	【商工】
若年者	③若年者に対する就業支援	・若年労働者の就業率の向上 59.5%⇒増加	【商工】
女性	④意識啓発と環境整備	・一般事業主行動計画策定企業 6.0%	【商工】
	⑤ニーズに合った多様な就業機会の提供	・女性の就業機会の創出 300人	【商工】
	⑥継続就業の支援	・女性の出産前後の就業継続率 おおむね5割	【商工】
高齢者	⑦男性の育児休業取得促進	・男性の育児休業取得率 全国平均(1.7%)以上	【商工】
	⑧高齢者に対する就業支援	・65～74歳の就業希望者有業率 全国平均以上	【商工】
障害者	⑨障害者に対する就業支援	・民間企業の障害者実雇用率の向上 1.83%→増加	【商工】
農業	⑩人材の確保	・新規就農者 170人/年→200人/年	【農林】
林業	⑪林業労働力の確保・育成	・県産材(スギ・ヒノキ)の素材生産にかかる必要林業労働者数 126人→400人	【農林】
水産業	⑫漁業団体等との連携による新規就業者の確保	・新規就業者数 45人/年→65人/年	【農林】
緊急雇用対策	⑬県における緊急雇用対策の実施	・長期かつ継続性のある雇用機会の創出 244人 ・短期の雇用機会の創出 1,869人	【商工】
	⑭市町における緊急雇用対策の実施	・長期かつ継続性のある雇用機会の創出 246人 ・短期の雇用機会の創出 2,216人	【商工】

【領域】

交流・連携基盤

【目指す姿】

○人やモノが集まり、国内外との交流が盛んに行われています。

取組番号29～31

【目標】

【取組の方向】

【ワーク】

【成果指標・目標】

【関係局等】

○グローバル化に対応した広域的なネットワークの強化

29 中四国地方における拠点空港である広島空港や、国際海上コンテナ輸送網の拠点である広島港、福山港等のグローバルゲートウェイ機能の強化に取り組みます。

①航空定期路線の拡充

・広島空港利用者数
282万人→350万人(国内310万人, 国外40万人)

【土木】

②港湾施設の機能強化

・貨物コンテナ年間取扱量
広島港260千TEU, 福山港130千TEU

【土木】

③外航コンテナ航路の拡充

・広島港の航路拡充
中国 週6便→週8便
東南アジア 週3便→週4便
・福山港の航路拡充
中国 週6便→週8便
東南アジア 0→週1便

【土木】

④空港周辺地域の活性化及び賑わいの創出

・広島空港周辺施設の利用者数の増加
52万人→59万人

【地域】

30 産業活動等を支えるための基盤整備や広域的な公共交通の利便性向上に取り組みます。

①広域道路網及び物流基盤等の整備

・広島高速道路5路線の整備による広域交通結節点へのアクセス時間の短縮
広島港⇄廿日市IC 約55分→約34分
広島市中心部⇄広島空港 約62分→約45分
・広島空港2時間圏域の拡大(※)
・広島市2時間圏域の拡大(※)
・高速IC20分圏域の拡大(※)
・高速IC20分でアクセス可能な産業団地の増(※)
・高速IC20分でアクセス可能な観光地の増(※)
※【道路整備計画2011(仮称:今年度策定予定)において目標設定】

【土木】

②産業団地の造成

・企業用地の造成 50.7ha

【土木】

③公共関与処分場の整備

・将来的な公共関与処分場のあり方についての方
向性を出す

【環境】

31 PFIの導入などによる民間開放と規制緩和の推進を図ります。